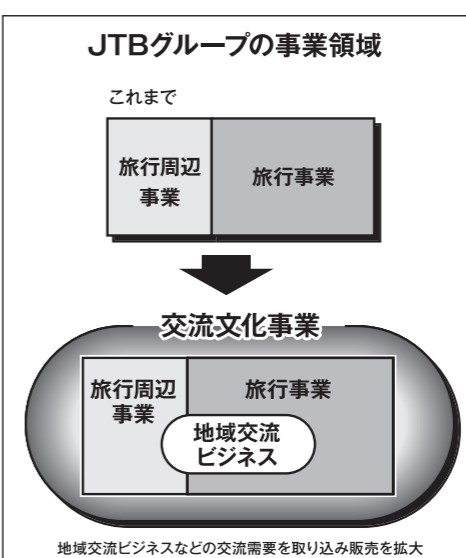


# JTBの交流文化事業

## 交流人口の拡大で 地域経済を活性化

交流文化事業が社会に貢献する「世紀」と今後100年の構想を描いたJTBの田川社長。それは、JTBグループが交流人口を拡大し地域経済の活性化に努める「地域と生きる」一世紀と見えてくる。地域における観光の現状を示し、交流文化事業とは何かを概括したうえで、これから地域観光とJTBグループを展望する。



地域交流ビジネスなどの交流需要を取り込み販売を拡大

我が国は人口減少、少子高齢化（15〜64歳）人口は817万人と減少傾向にある。地域経済の活性化に貢献する観光産業の成長を促している。これからの地域経済の発展には有効な施策とされるが、国内外の旅行者誘致を通じて観光人口を増加させる観光振興策は、観光振興に必要不可欠な要素を切り札として観光振興を推し進めている。

## 観光振興に動く地域

日本人口は、国立社会保険人口問題研究所によると、現在の1億3006万人（2010年）から減少が進行し、50年後の60年には32.3%減の8674万人になると推計されている。このうち生産年齢（15〜64歳）人口は3173万人と減少傾向にある。国内の旅行消費は日進月歩で増加している。観光産業は、国内の旅行消費の約45%を占める重要な産業であり、観光振興の重要性がますます高まっている。

## 質と集客力の向上 課題

観光に期待されているのは、定住人口の消費の減少を交流人口の旅行消費の増加によって補うことだ。政府の家計調査や観光統計を活用した試算によると、定住人口1人当たりの年間消費額の減少は、日本人の旅行消費額に比べて約2割多いと推計されている。このうち生産年齢人口は、定住人口の消費額の減少を補うことが課題とされている。

## 地域と生きるJTB

JTBは、06年4月に地域づくりに取り組むことを主目的としたグループ経営体制に移行し、現在「交流文化事業」として「交流文化事業」を事業のメインと、客さまの感動と喜びのために「分社化当時は」「交流文化事業」を事業のメインと、客さまの感動と喜びのために「分社化当時は」

交流文化事業とは何かを概括したうえで、これから地域観光とJTBグループを展望する。

## 交流文化事業とは

JTBは、06年4月に地域づくりに取り組むことを主目的としたグループ経営体制に移行し、現在「交流文化事業」として「交流文化事業」を事業のメインと、客さまの感動と喜びのために「分社化当時は」

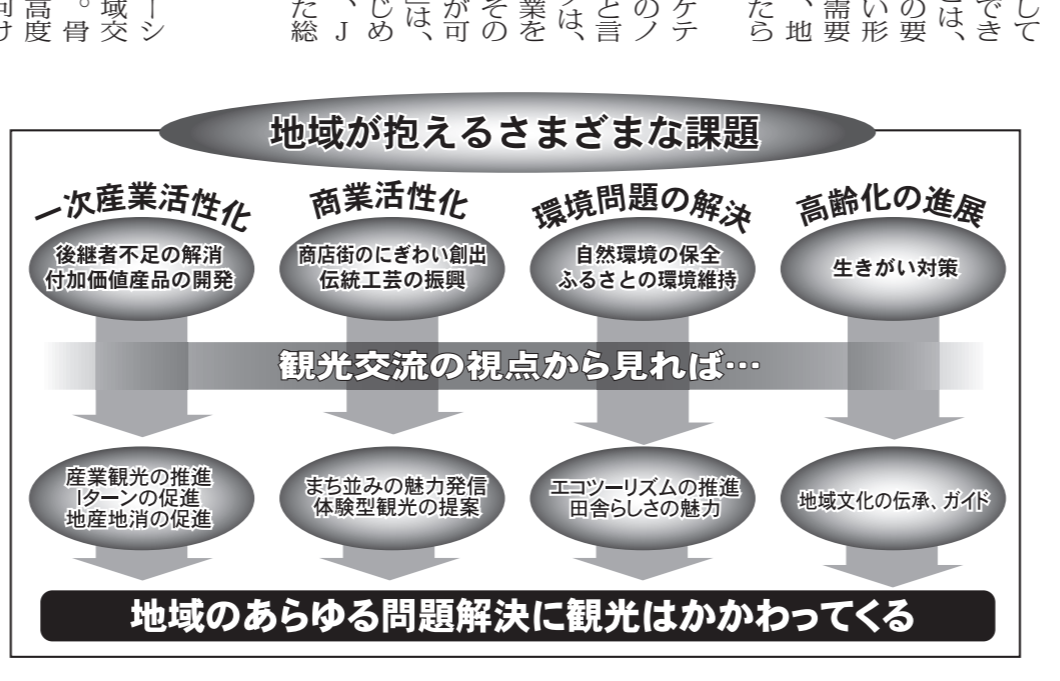
## 「旅行」から「交流」へ転換

「旅行」から「交流」へ転換。観光産業の活性化に貢献する観光産業の成長を促している。これからの地域経済の発展には有効な施策とされるが、国内外の旅行者誘致を通じて観光人口を増加させる観光振興策は、観光振興に必要不可欠な要素を切り札として観光振興を推し進めている。

## 地域と生きるJTB

JTBは、06年4月に地域づくりに取り組むことを主目的としたグループ経営体制に移行し、現在「交流文化事業」として「交流文化事業」を事業のメインと、客さまの感動と喜びのために「分社化当時は」

## グループの総合力を發揮し 真の「ウィン・ウィン」を



## 地域が抱えるさまざまな課題

- 一次産業活性化**：後継者不足の解消、付加価値製品の開発
- 商業活性化**：商店街のにぎわい創出、伝統工芸の振興
- 環境問題の解決**：自然環境の保全、ふるさと環境維持
- 高齢化の進展**：生きがい対策

観光交流の視点から見れば... 産業観光の推進、まち並みの魅力発信、エコノミズムの推進、地域文化の伝承、ガイド

地域文化の伝承、ガイド。観光交流の視点から見れば、地域文化の伝承、ガイドが重要な役割を果たしている。



## 「地域」や「着地」に軸を置く

観光産業の活性化に貢献する観光産業の成長を促している。これからの地域経済の発展には有効な施策とされるが、国内外の旅行者誘致を通じて観光人口を増加させる観光振興策は、観光振興に必要不可欠な要素を切り札として観光振興を推し進めている。

## グループの総合力を發揮し 真の「ウィン・ウィン」を

グループの総合力を發揮し、真の「ウィン・ウィン」を実現する。観光産業の成長を促している。これからの地域経済の発展には有効な施策とされるが、国内外の旅行者誘致を通じて観光人口を増加させる観光振興策は、観光振興に必要不可欠な要素を切り札として観光振興を推し進めている。

## ～お気軽に参加いただけるJTBグループの環境保護活動～ JTB観光地クリーンアップキャンペーン ～人々の交流と地球環境のために～

1985年にスタートして以来、四半世紀の歴史のあるJTBグループの社会貢献活動です。観光地の美化活動や観光資源の保護を通じて、豊かな地域社会の実現に貢献したいと考えています。現在では、環境保護活動のみならず、地域の観光資源を知る機会を提供するため、プログラムに創意工夫をしています。26年間で約14万名様にご参加いただきました。

- 2011年の主な活動（一例を紹介します）
- 北海道支庁湖沼：台風被害に遭った国有林の植樹活動と植生・自然保護に関する講話
  - 東北6県下：震災からの復興祈願桜の植樹（6県下）
  - 栃木・さくら市：ボランティアガイドによる奥州街道の歴史説明と清掃活動
  - 埼玉・神川町：埼玉100年の森の野草刈りと森林ウォーキング
  - 愛知・半田市：半田運河の清掃とボランティアガイドによる街歩き
  - 長野・戸隠：戸隠神社の清掃と戸隠そば工場見学
  - 滋賀・沖島：山林の野草刈りと地網体験
  - 京都・中書島：川べりの清掃と三十船乗船

2012年度より「地球いきいきプロジェクト」と名称を変更し、活動を海外にも広げるとともに、より多くのお客さまにご参加いただける魅力的なプログラムに取り組んでいきます。